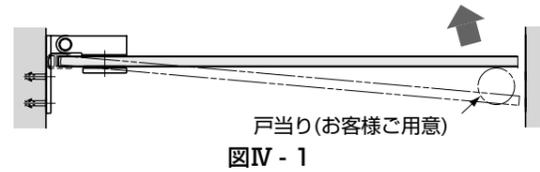
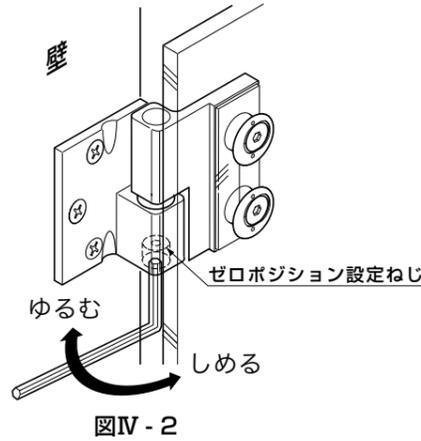


IV バックチェック機能を与えます。

ドアが閉まったときにドアが風圧などで勝手に開かないように、バックチェック機能を持たせることができます。
この機能を持たせるためには、別に戸当りが必要になります(図IV-1)。
戸当りはこの製品には含まれていません。別途お求めください。

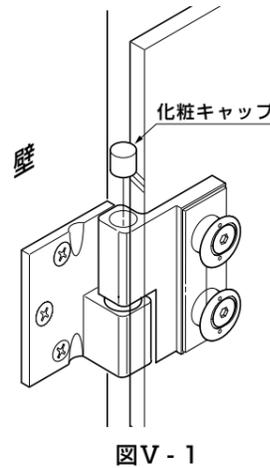


- 戸当りの位置を、次のように決めてください。
 - ドアが閉じたときのドアパネルの先端を決めてください。
 - (1)の位置に相応しい場所に戸当りを取り付ける穴を開けてください。
- ゼロポジションを、次のように決めてください(図IV-2)。
片開きドアで閉じた時に戸先に戸当りが当たる場合。
※片開きの場合は、戸吊りを押す向きにゼロポジションを設定してください。
 - ドアは、戸当りをやり過ぎし、さらに約10度閉じてください。
 - ドアパネルから手を離れたときに、ドアの先端がこの位置になるよう、ゼロポジション調整ねじを締めてください。
締め付けトルクは、5 N・m にしてください。
工具：六角棒スパナ 呼び4
 - ドアを開けて、戸当りを取り付けてください。
 - エッジシール(別売品)を元の位置に取り付けます。



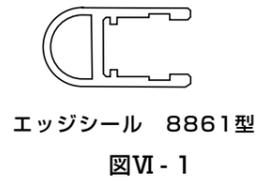
V 化粧キャップを丁番に差し込んでください。

丁番の取り付け、ゼロポジションの設定が終わった後、丁番上面の軸穴に化粧キャップを取り付けてください(図V-1)。



VI エッジシール(別売品)の取り付け

P.2「製品各部の名称および寸法、加工寸法」に従い、エッジシール 8861KUO-10-2500(別売品)を取り付けます(図VI-1)。



清掃

- 柔らかな布に薄めた中性洗剤をしみこませ、それを固く絞ったもので汚れを拭き取ってください。
中性洗剤以外の物をお使いになると、変色や腐食の原因となり、これが製品に悪影響を及ぼすことがあります。
- 汚れを拭き取ったら、柔らかな布に水道水をしみこませ、それを固く絞ったもので洗剤を拭き取ってください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口をお願いいたします。

アーキテクトサポート室 電話番号 **03(3864)1122**
受付時間 **月～金 9:00～17:30** (年末・年始・夏季休暇等は除く)
FAX 03(3863)6875
E-mail: support@sugatsune.co.jp
東京都千代田区岩本町2-5-10 ☎101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001(JSAQ384)・ISO 14001(JSAE597) 審査登録
※ISO9001:国内各拠点 ※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
http://www.sugatsune.co.jp/

2012.11 PRINTED IN JAPAN 0604-1

ガラスドア用グラビティー丁番 71010-31、71011-31、70010-31、70011-31 取付説明書

このたびはガラスドア用グラビティー丁番 71010-31、71011-31、70010-31、70011-31 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この製品はシャワーブースなどの水周りなどで使用するために設計されたものです。この他の目的には使わないでください。
取り付けの際は、この取付説明書をよくお読みになってから、作業をお始めください。



写真は 71010-31

71011-31 は対称形です。



写真は 70010-31

70011-31 は対称形です。

必ずお守りください。 安全のため、必ずお読みのうえ、お守りください。
下の表示は、製品を正しく安全にお使いいただき、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐ目印として、マークによる注意事項を示したものです。

警告 この表示を無視、あるいは注意事項を守らないで使用した場合、故障の原因や事故により、けがをしたり組み立てられないことがあります。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 本書について

- 本取付説明書は、一ヶ所のシャワーブースなどにガラスドア用グラビティー丁番を取り付けることを想定した上で、最も安全かつ効率的に取り付けできると思われる方法を記載しました。必ずしも取り付けの順序や方法を規制するものではありません。
- 取付作業を行われる方におかれましては、専門家としてのノウハウをお持ちのことと考えておりますので、この取付説明書に記載された方法にとらわれず、専門知識と経験に基づいて取り付けを行なってください。
その場合においても、事前にこの取付説明書に一度は目を通して下さるようお願いいたします。
- 取付作業が終わりましたら、本書をユーザー様にお渡しください。ユーザー様には、本書を取り出しやすい場所に保管するようお願いしてください。
- 本書をお読みいただければ、外国語版の取付説明書をお読みいただかなくても良いように構成されております。

■ 免責について

現場の状況や取付作業の結果としての品質は、弊社の影響の及ばない多くの要素から成り立っています。したがって弊社ではこれらが原因となって発生した副次的な損失や損害、または出費についての責を負うことができませんのでご容赦ください。
ご理解のうえ、ご了承いただくようお願いいたします。

■ 説明図の寸法について

この取付説明書に記載した寸法は、加工や組み立てによる誤差、材料そのものの変形などを考慮していません。このことをご考慮のうえ、作業を行ってください。

■ 戸当りの設置についてお願い

ガラスドア用グラビティー丁番は、回転限界角度の表記をしてあります。この角度は、ガラスドア用グラビティー丁番が単独で開く限界角度をのこととしています。これがついたドアパネルは、この角度よりも多くは開けません。ドアパネルには、開いたときの慣性でそれ以上開こうとする力が発生します。この力が原因で、ドアパネルがさらに多く引こうとし、取付部のねじを引き抜いたり、ドアパネルが変形したり、建築物に思わぬ力がかかったり、ときには建築物やドアパネルに傷をつけてしまうこともあります。

ドアパネルがガラスドア用自由丁番の限界角度より小さい位置に別に戸当りを設けると、ドアパネルの慣性によって発生するこのような力は大きく軽減します。その結果、上のような事故が発生する機会を著しく軽減させることができます。
このような観点から、ガラスドア用グラビティー丁番の開き限界角度より早くにドアパネルの回転を止める戸当りを設けることをお勧めします。

■ 作業についてお願い

丁番はその構造上、取付位置の間隔はガラスパネルの加工に依存することが多い製品です。そのため、丁番を先にドアパネルへ取り付けてから建築側に取り付けてください。
建築側へ先に取り付けてからドアパネルを組み込むと、それぞれの誤差により丁番がドアパネルに組み込めないことがあります。

SUGATSUNE

I このガラス丁番について

1 製品仕様 使えるドアパネルの範囲

質量	35kg/ペア以下
扉幅	900mm以下
扉高さ	2000mm以下
ガラス厚	10mm

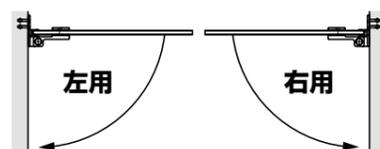
2 作業に必要な工具

鋼製巻尺、かいもの、取付場所に適合する取付用ねじ、ねじに適合するプラグおよびねじ回し、頭部が木・ゴムまたはプラスチックなどの柔らかい材料のハンマ、専用工具 Z059(別売品)、六角棒スパナ 呼び 4

3 作業前に確認したいいただくこと

1 内容物と数量を確認してください。
製品が届いたらすぐに梱包を解き、下表と比べながら内容物の数と状態の確認を行ってください。
不足や不備があったら、使用せずに、直ちに販売点または弊社までご連絡ください。

「右用、左用の説明」



手前に引く側から見て左吊元、右吊元



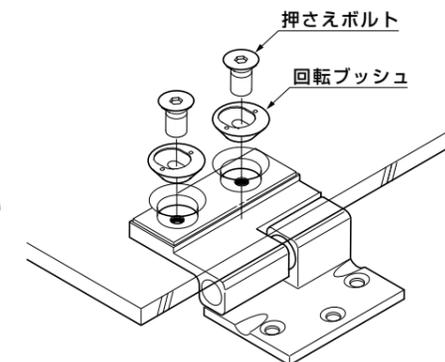
専用工具 Z059(別売品)

II 取付手順 (イラストは丁番 70010-31 を使い説明しています)

1 丁番をドアパネルに取り付けます。(4種共通)

丁番各部の名称は、図II-1によってください。

- 1 ドアパネルを水平で安定した台の上に、寝かせて置いてください。
- 2 丁番をドアパネルに、次のように取り付けてください。
 - (1) 丁番をドアが開いたときのように、開いてください(図II-1)。
 - (2) 押さえボルトと回転プッシュを外してください。
工具：六角棒スパナ 呼び 4
 - (3) 本体をドアパネルのガラス切欠き部の下側にあてがってください。
このとき、ガラス切欠き部に2つの回転プッシュを同じ向きで入れ忘れないように置いてください。
 - (4) 回転プッシュを、押さえボルトでねじ込んでください。
 - (5) 上下2個のヒンジの軸が、ドアパネルの縦方向の縁と平行になるように位置を調整してください。
 - (6) このままドアパネルを壁に取り付けるため、強固にねじを締めてください。
位置合わせのためにねじをゆるめることがあります。取り付け時の安全のために、このようにしてください。



図II-1

2 丁番を枠に取り付けます。

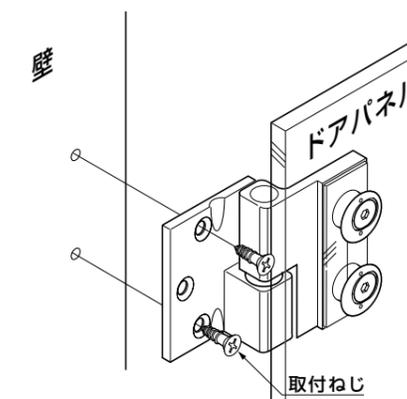
1 丁番はドアパネルを開くと約4mm上がります。この寸法を考慮のうえ、枠に取り付けてください。

2 枠に、丁番取付穴を次のように開けてください。

- (1) ドアパネルの表面と丁番の取付穴の中心を確認し、最も上の穴の位置に印をつけてください。
- (2) 印をつけた穴から鉛直に、丁番の間隔で同じように印をつけてください。
- (3) 枠の印をつけた場所に、お使いのねじまたはねじ用プラグの径と長さにあった穴を開けてください。

3 ドアパネルを枠に取り付けてください。

- (1) ドアパネルの下に、ドアパネルと床とのすき間の寸法に見合った「かいもの」を置いてください。
- (2) ドアパネルを「かいもの」の上に置き、丁番の穴と「1」で開けた穴とを合わせてください。
- (3) ご用意の取付ねじを、ドアパネルの傾きを直しながら、締めてください。
[1] ねじは一気に締めず、ある程度締まったら別のねじを締めてください。
[2] 丁番の軸心が鉛直でないと、ドアパネルが曲がることがあります。
注意深く取り付けてください。
- (4) 丁番の軸心が上下に通っているかどうかを再確認してください。
[1] 中央の穴に合わせて、お使いのねじまたはねじ用プラグの径にあった穴を開けてください。
- (5) 位置が決まったら、「かいもの」を外してください。
- (6) ドアを静かに動かしてください。
- (7) ドアパネルが建築物や他の物とぶつからないかどうか確認してください。



図II-2

2 製品各部の名称および寸法、加工寸法

71010-31 (右吊元用)
71011-31 (左吊元用)

※本図は71010-31(右吊元用)を示します。
71011-31(左吊元用)は勝手違いとなります。

①丁番本体 ②化粧キャップ

※自閉範囲(ゼロポジションから±約60°)
せり上がり量4mm

エッジシール
8861KUO-10-2500(別売品)

ゼロポジション設定ねじ

ガラス加工図

ガラス厚10mmの場合

ガラス厚8mmの場合

70010-31 (右吊元用)

①丁番本体 ②化粧キャップ

エッジシール
8861KUO-10-2500(別売品)

ゼロポジション設定ねじ

ガラス加工図

70011-31 (左吊元用)

①丁番本体 ②化粧キャップ

エッジシール
8861KUO-10-2500(別売品)

ゼロポジション設定ねじ

ガラス加工図

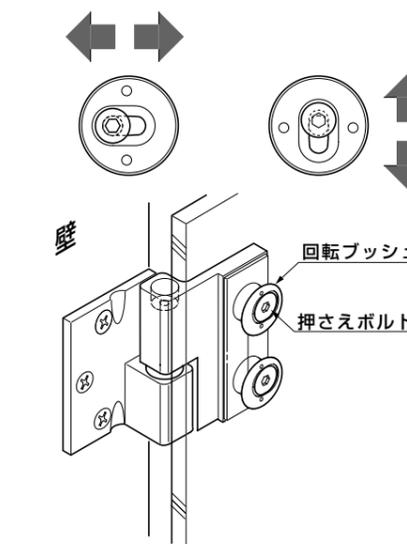
III ドアパネルの建付調整 (丁番 71010-31 の場合)

ドアパネルの上下、左右、傾き調整ができます。

- 1 丁番の押さえボルトを少しゆるめます。
専用工具 Z059(別売品)を使い、回転部プッシュを回し、長穴の向きを変えながら、ドアパネルの傾きや上下、左右傾き調整を行います(図III-1)。
基準位置から約4mmずらせます。



専用工具 Z059(別売品)



図III-1